

## IV 購読新聞と購読専門雑誌など

### 1 購読新聞

会員の購読新聞は、「地元・地方紙」が50.3%と最も多く、年齢別でもこの傾向は変化がない〈統計表第187表〉。また、1人当たりの読んでいる新聞は、平均1.4紙である。

なお、地元・地方紙で読まれているのは、「中日新聞」が全体の4.6%、「北海道新聞」が2.8%、

「西日本新聞」「中国新聞」が1.5%、「山陽新聞」が1.2%、「静岡新聞」「新潟日報」「熊本日々新聞」「神戸新聞」「河北新聞」が1.1%などの順である。

### 2 購読専門雑誌など

各年代別に会員が購読している専門雑誌等について示したのが、〈表16〉である。

40代までは「エキスパートナース」が最も読ま

表16 購読専門雑誌等（年代別）（上位10位）

	合計	20代	30代	40代	50代	60代
回答者数	5692	1856	1717	1402	601	97
1位	エキスパートナース (39.9)	エキスパートナース (46.6)	エキスパートナース (42.3)	エキスパートナース (35.4)	看護 (40.1)	看護 (43.6)
2位	月刊ナーシング (28.3)	月刊ナーシング (34.9)	月刊ナーシング (27.0)	看護学雑誌 (27.2)	看護学雑誌 (32.1)	看護学雑誌 (20.6)
3位	臨牀看護 (19.7)	臨牀看護 (19.1)	臨牀看護 (18.8)	月刊ナーシング (23.8)	看護技術 (26.8)	看護管理 (19.6)
4位	看護学雑誌 (19.3)	ナース専科 (17.5)	看護学雑誌 (17.2)	看護 (23.6)	エキスパートナース (26.6)	看護展望 (18.6)
5位	看護技術 (16.5)	その他 (13.1)	その他 (13.9)	臨牀看護 (22.3)	月刊ナーシング (24.3)	エキスパートナース その他 (17.5)
6位	看護 (15.4)	看護技術 (12.7)	看護技術 (13.5)	看護技術 (21.1)	看護展望 (22.6)	
7位	その他* (13.5)	看護学雑誌 (11.3)	ナース専科 (13.2)	看護展望 (18.4)	臨牀看護 (18.5)	助産婦雑誌 (16.5)
8位	ナース専科 (13.8)	ナーシング・トゥデイ (7.4)	看護 (11.1)	その他 (12.8)	看護管理 (16.8)	看護技術 (15.5)
9位	看護展望 (10.5)	ナースラスワン (7.2)		看護実践の科学 (12.3)	ナーシング・トゥデイ その他 (15.1)	日本看護協会 調査研究報告 (14.4)
10位	ナーシング・トゥデイ (10.4)	小児看護 (6.3)	ナースデータ (8.9)	ナーシング・トゥデイ (11.5)		ナーシング・トゥデイ 臨牀看護 (12.4)

注( )内は全国回答者に対する比率(%)

\*「その他」の専門雑誌としては、「オペナーシング」(全体の2.2%)、「ハートナーシング」(1.3%)、「ブレインナーシング」(1.1%)、「エマージェンシー・ナーシング」(0.7%)、「NICU」(0.5%)など。

れているが、50代以降では「看護」が最も読まれている。また、一人当たりの購読雑誌等は平均9.2誌で、年齢が高くなるにしたがって減少する

傾向があるが、50代後半からは増加している〈統計表第188表〉。

## ま と め

今回の調査結果から、特に労働条件を中心にいくつかの改善点がみられた。週休2日制の導入が5割を超えたことや、夜勤回数が若干ながら減少したこと、出産に関わる母性保護措置の中でも、特に産後に育児休暇を取る割合が増えたのと同時に取得期間が長くなったことなどである。確かに、全体としては、改善がみられたものの、民間病院では、週休2日制の導入が24.7%でしかなく、現に11回以上の夜勤をしている者は12.8%もいるなど、病院によっては労働条件の改善がすすんでいないことも明らかである。

また、現在大学への社会人入学が活発となっている。この大学への社会人入学には、現在の仕事

上の専門性を高めるための教育と、自分の視野を広げ、豊かな人間性を育てるための教養的な教育との両側面がある。今回の調査で明らかになったように、会員の3割以上が、看護系めたは看護系以外の4年制大学への入学を希望しており、会員は専門性の教育、教養的な教育のどちらに対しても希望が高いといえる。現在就業中の看護職は約85万人おり、単純に計算すれば25万人以上が大学進学を希望していることになる。これだけの潜在的進学希望者が存在する以上、社会的にこれにどう応えていくかが課題となろう。専修学校で取得した単位を大学の単位として認定できるようにすること、専修学校卒業生の大学への編入学を認めること、社会人編入学者の定員枠の拡大などの実施が望まれる。